

	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容の打ち合わせ(KY)活動(事前調査資料参照) 作業方法の確認 作業箇所、条件により機械の選定及び人員の配置を行う 作業人員の確認 作業規制の確認 使用機械の点検 側道部沿線に駐車してある車両・家屋の把握 保護具の点検 現場出入りの確認 	<ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメントによる危険予知の実施 伐木講習修了者を中心に編成、各種資格の確認・使用機械の選定 担当者との打ち合わせ(現地にて作業方法の確認打ち合わせ) 天候を考慮して作業機械を選定する。(現場状況、天候、作業者のレベル等で職長が判断) 責任者により作業分担を選任。資格証携帯確認 作業責任者は作業の進捗により人員配置を変更する 使用機械安全器具および安全装置の点検 安全器具の点検 車両運行前点検の実施 駐車車両及び家屋に損傷等を与えるおそれがある場合飛散ネットの使用で作業を行う 保護具の損傷がないか点検を行う。(使用機械別保護具を参照) フェンス開口部が近くにない場合は、アルミトラック用ステップを立ち入り防止柵にしっかりと固定して乗り越える 側道からの作業にあつては駐車場所に注意し民地であれば承諾を得る。
ケーブル確認 危険物の除去	<ul style="list-style-type: none"> 現場到着後、リスクアセスメントによる現場KYの実施 ケーブル箇所の確認 危険物(ゴミ等)の除去 	<ul style="list-style-type: none"> 年間ケーブル協議書に準じてケーブル防護を行い作業を行う(年間協議書参照) 危険物(ゴミなど)は前もって除去する ゴミ等は指定された仮置き場へ集積する
ハンドホールの蓋 開閉作業	<ul style="list-style-type: none"> 伐根する回りの表面の土をスコップで徐々に取り除く 根が出始めたら根の回りの土を取り除き、のこぎり、チェーンソーで根を切る 埋設物がある近接作業は、コンパネ等で埋設物を防護して、のこぎり、チェーンソーは使用しない 根の全てを出し終えたら、人力で持ち出し運搬車へ積み込む 人力で持ち出せない大きな根は玉掛けワイヤーを使用し、クレーン付トラック又はバックホウで吊り上げてトラック荷台に積み込む 	<ul style="list-style-type: none"> 作業員全員による近接埋設ケーブル等の確認 蓋の落下により、ハンドホール内ケーブルの損傷が無いように慎重な作業を行い、管路保護のため土嚢を設置する。 鍵穴から鍵が外れないように、常に注意します 蓋を開ける際には、蓋の移動先を作業員同士で事前に確認する 蓋を閉める際には、ハンドホールの蓋枠に土砂等がのこらないように清掃し、蓋のバランス等に気配りをして、蓋を落下させないように閉じる ハンドホールの蓋は重量物であり、取り扱いには十分に注意します。また、開閉作業においては、専用の工具を使用し、代用品は使用しない 開閉作業中には、開閉用鍵をしっかりと握り、途中で離さないようする 開閉鍵を鍵穴に差し込み、90°に回転させ、鍵脱着防止金具を鍵穴に差し込み、開閉鍵が外れないことを確認し、蓋の移動作業を開始する 作業は、人力のみで行うが、一人当たりの吊り上げ荷重が55kg以下で均等になるようにし、蓋の下に二本以上の支持材を差し込み、蓋を横にずらす 閉じる作業は、上記と同様重量配分を適切に行い、蓋がハンドホール上まで移動してから、支持材を1本ずつ取り除き、慎重に蓋を設置する ハンドホールの蓋が容易に開かない場合は、てこ式マンホール鍵等で縁切りをし、その後、作業する 刈り払い・伐採・パッカー車は各手順書参照 のこぎり・ナタの使用時は離隔3m程度、刈り払い機使用時は5m以上の離隔を確認して作業を行う
試掘作業	<ul style="list-style-type: none"> 試掘作業は、人力によりスコップを使用し手掘りで行う 埋設箇所を埋設探査機により管路位置、埋設深さを確認し、スプレー等でマーキングする 試掘により埋設ケーブルの管路位置、深さを確認して、試掘結果を測定する 埋め戻しについては、発生土を土のう詰めて埋め戻しする 試掘後、直線部分は試掘箇所全部に埋設標を設置する 	<ul style="list-style-type: none"> 試掘方法は、管路位置を調査し十分注意しながら、人力にて試掘を行い、損傷事故防止に心掛ける スコップはいつべんに突き刺すように使用しない 土のうは徐々の置き、高い位置から落とさない 作業現場において、緊急事態が発生した場合は、関係先に連絡する 資機材の忘れ物に注意
作業終了と後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 資機材の忘れ物に注意 リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施 使用機械の清掃、調整の実施

注意事項

- 第三者被害や事故を発生させた場合のことの重要性を十分理解・認識をする
- 1人作業の禁止
- 有資格者により作業を行う。(資格証を所持する)
- 合図の確認・無線機の有効活用

使用機械

ノコギリ・カマ・ナタ・刈り払い機・トリマー式刈り払い機
各種チェーンソー

安全器具・保護具確認

ヘルメット・安全チョッキ
殺虫剤・ポイズンリムバー・熱中症グッズ・涼しん帽
使用機械別使用保護具を参照
【ケーブル事故防止対策】コンパネ・シュート
「蜂抗体検査レベル3以上」の方:エビペン